

令和7年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校

目指す生徒像	清らかで、清潔感にあふれ、真心をもって人や物事に対し、自ら進んで新しい物事に取り組む生徒
--------	--

重点目標	1 習得と探究のバランスがとれ、有機的に関わらせる学習指導を推進する	達成度	A	達成できた
	2 生徒が自ら志を高め、志望実現のために努力できるキャリア形成環境をつくる		B	ほぼ達成できた
	3 自分のよさや可能性の伸長を生徒自らが図ることができる環境をつくる		C	あまり達成できなかった
	4 魅力ある開かれた学校づくりを推進する		D	達成できなかった

A	: 十分評価できる	【A = 3.5以上】
B	: まずまず評価できる	【B = 3.0以上】
C	: 一部見直しが必要である	【C = 2.5以上】
D	: 根本的な見直しが必要である	【D = 2.5未満】

自己評価						学校関係者評価	
番号	重点目標	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	評価	意見・要望等
1	習得と探究のバランスがとれた授業をデザインし、学力が伸びる学習環境をつくる。	①疑問を持つ予習と、定着させる復習を学習習慣にして、自ら学ぶ力と確かな学力を身に付けさせる。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.6	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面に課題がある。授業の工夫をしながら学習意欲の喚起を望む。 ・生徒の学習意欲をかき立てるものとの出会いがあると良い。例えば、目標にしたい大学・企業・先輩などや、探究したくなるものとの出会い。 ・自ら学ぶ力を身に付けさせるには、多様な機会やきっかけを提供する必要がある。意思決定を含め生徒の主体的な学びへのきっかけを支援する取り組みが必要である。
		②積極的に授業改善を図り、アウトプットや振り返りを充実させることで、探究型学習と探究活動の教育の質を高める。	〃	3.2	B		
		③ICTを活用しながら、個別最適な学びや協働的な学びを実施することで、生徒の資質・能力を伸長させる。	〃	3.2	B		
		④教員による観点別学習評価や高大接続改革に関する研鑽により、生徒自身のメタ認知を支援し、進路実現に資するような学びに向かう力と人間性を育成する。	〃	3.0	B		
2	高校卒業後の志を育て、志望実現のために努力できるキャリア形成環境をつくる。	①「清楚 誠実 進取」の実現と「時間を守る、整理整頓、元気な挨拶」の習慣化により、社会的資質・能力を育成する。	〃	3.2	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が少ないながらも各自の進路が達成されている。 ・生徒アンケートによると90%以上の生徒が卒業後の進路について考えを深めたと回答している。一人一人の思いを大切に、先生方が個別に指導や助言をしてくださった成果だと考えられる。 ・外部の教育資源を活用した教育は新高校でも継続してほしい。キャリア形成については、外部の専門家の導入も将来的に考えていけるといいと思う。
		②外部の教育資源を活用しながら新しい価値観や考え方に会える機会を創出し、高い志を育成する。	〃	3.4	B		
		③自己や他者との対話を通して深く考えるような、生徒のキャリア形成に資する教育プログラムを充実させる。	〃	3.0	B		
		④生徒自身が自己の伸びや成長を実感しながら、志す進路実現ができるよう、進路指導力の向上を図る。	〃	3.2	B		
3	人と人との関わりから自分を成長させることができる多様な交流環境をつくる。	①全ての場面において「自分と他の人の大切さを認める」という人権尊重の精神を貫いた教育を行う。	〃	3.6	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の意識が高く素晴らしい。日頃から、互いのよさを認め合い、仲間への思いやりの気持ちを持ってかわり合っていることが想像される。 ・地域の企業や大人たちとの交流が生徒の成長に繋がっていることを嬉しく思う。 ・職員のご努力によって、良い環境整備が整っていることを大きく評価したい。
		②学校づくりへの参画意識を醸成しながら学校行事や部活動を展開することで、学校生活を豊かで充実したものにする。	〃	3.6	A		
		③校外活動や地域貢献活動への積極的参加を推奨し、多様な人々との関わりの中で育つ環境を提供する。	〃	3.3	B		
		④キャンパス制の連携事業や統合校との交流を充実させることで、次年度への移行の円滑化を目指す。	〃	3.4	B		
4	新南高としての最後の年を、生徒にとって最高の1年間にする学校マネジメントを推進する。	①大学や地域等外部の教育資源をさらに活用した「新たな知や感性との出会い推進プロジェクト」を推進し、生徒の学びに向かうモチベーションを高める。	〃	3.4	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新南高最後の一年は苦労が多かっただろうが、職員の努力は素晴らしい。生徒も立派だった。 ・新聞等に、すばらしい取組がいくつも掲載され、市民に広く知っていただくことができた。生徒の最後にかかる思いがストレートに伝わってきた。職員の思いも同じように伝わって来た。 ・職員の「働き方改革」について改善を望む。県立高校全体の課題として横断的に検討、実践していく必要があると思われる。
		②生徒や保護者、中学生や地域の方々に「伝わり、届く」情報発信を推進する。	〃	3.2	B		
		③安全と安心をベースに、生徒の学びと教師の働きを支える学校施設設備の整備・管理を推進する。	〃	3.0	B		
		④業務の効率化を高めて時間外勤務時間を削減することで、教職員の「働き方改革」を一層進める。	〃	2.9	C		

学校関係者評価を踏まえた改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ●新庄志誠館高校へのスムーズ移行と更なる発展を期待。 ●閉校の年ということで職員・生徒ともに全力投球の一年だったと思います。お疲れさまでした。閉校式典にも参加させていただきましたが、心温まる式典でした。 ●新南高の最終年度、生徒たちは、「やり切った」という思いで学び舎を後にすることと思います。卒業生には、高校での生活に誇りをもって新たな世界に進んでほしいと思います。1、2年生には、高校での学びや経験に自信をもって、新しい高校生活をスタートさせてほしいと願っています。そして、新高校での新たな歴史を創ってほしいと期待しています。 ●外部から見て、良い生徒が多いという印象を持っています。特に笑顔がいいですね。校長先生の指揮のもと、先生方の連携が円滑に図られているからその成果であると思っています。日々のご努力に改めて敬意を表します。地域の次代を担う生徒が卒業後、一旦地元を離れても、また再びこの地域に戻ってきてくれることを切に願っています。
------------------	--